
花～反射する微笑み～

遮那-shana-?

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

花〱反射する微笑み〱

【Nコード】

N7992T

【作者名】

遮那 - shana - ?

【あらすじ】

思い出が揺さぶる心を、少年は強く、優しく縛り付ける。それでもあの日見た笑顔と白い花は、変わらないまま光り続けていると信じています。

（前書き）

引っ張り出してきた詩ならぬ抽象的な小説。
大目に見てやってください色々と。

側にぽつんと咲いた白い花が、思い出を引っ張り出すように静かに揺れている。

どこかで見た。そう直感した。小さな手に優しく包まれた白い花が、フィルムの一場面できらきらと光っている。

「…相変わらずだよ、君は素直すぎる」

そう呟くと、目の前にあの声が蘇ってくるような気がして少し気持ちが悪くなった。いるはずのない影が後ろにあるような、そんな気がするのだ。

戻ることの出来ない言葉を繰り返し、夕日が沈むまで繋いでいた手温かく、すぐそこまで迫っている何かさえ忘れさせてくれる、優しい手だった。

どうしようもなく臆病な自分に、根拠のない言葉で笑いかける。その笑顔が大好きだったことを、膨らまぬよう小さく小さく思い出した。

過去に手を伸ばさぬよう、それでも変わらない思い出だけは忘れないように、少年はそっとその入り口を塞ぐ。

もう追いかけてこれないように。

弱い自分が過去へと逃げないように。

ただ、前に行く足跡が立ち止まるそのときまで。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7992t/>

花～反射する微笑み～

2011年10月9日04時55分発行